



eeeee



Goodbye. Perio Project

密着レポート



生徒の自主性を尊重する校風で有名な中高一貫校・品川女子学院。

ここ数年、受験者が右肩上がりに増加している理由の1つは
独自の教育カリキュラムである“28PROJECT”※にあります。

仕事、結婚、出産などたくさんの選択肢が登場する28歳。

この年齢になったとき、自分の人生を考え、最善の道に進めるような取り組みをしているのです。

そのひとつが高等部の1、2年生が行なう「起業体験プログラム」。

文化祭で出店する模擬店を株式会社として考え、実社会と同じ手順で会社を設立します。

プレゼンテーションで資本金が決定され、設立登記、株主総会など本格的な体験を。

各クラスが起ち上げたのは化粧品会社や美容院などさまざままで、

4年B組(高校1年生)は歯周病に注目し、日本人が80歳になっても歯を残せるよう

“Whiteeeeth”という歯科医院をつくることになりました!

株式会社オーラルケアに話が来ただけでグッペリが全面的にサポート。

最初はフロスを通したことなかったB組のみなさんですが、

文化祭当日は歯科衛生士も顔負けのプロフェッショナルになっていきます!

※「28PROJECT」とは 28歳になったとき自立した女性でいられるよう品川女子学院が行なっている独自のカリキュラム。

中学1年生は地域を知るために地域活動へ参加、2年生は日本を知るため茶道・着付け・礼法などの学習、
3年生は世界を知るためにニュージーランドで研修。

さらに高校生になると社会を知るために、起業体験や企業とコラボレーションをします。

詳しくは品川女子学院のHPで<http://www.shinagawajoshigakuin.jp/01guide/28.html>



教えて、YOUのオーラルケア!

日本に住んでいても、セルフケアや歯科医院への通い方には“その人のお国柄”がくつきり。
患者さんのモチベーションを高めるヒントを見つけてください。

日本に住む
外国人に聞きました



vol.16



ロッシ・グレタさん
国籍 イタリア / 年齢 30歳
在住歴 4年



花の都・フィレンツェを有するトスカーナ州出身のロッシさん。日本文化の奥深さに惹かれ、大学では日本語を勉強していました。日本人の旦那さんは、ロンドンで留学中に出会ったそうです。

Q.1 オーラルケアをしていますか?

普通の歯ブラシはもちろん、デンタルフロスや歯間ブラシも使っています。歯ブラシだけじゃ足りないから、他の追加のツールも使わないとなあと思って。フロスはもともと両親がやっていたので、小さいときからずっと使っています。もし歯もだけど、歯ぐきの問題のために必要な道具です。

Q.2 オーラルケアの道具を選ぶとき、こだわっていることはありますか?

デンタルフロスはいろんな形のものを見かけますが、指に巻いて使うタイプが多い。なかなか届かないところもキレイになるし、一番カンタンな気がします。あと、オーガニックなものが好き。お店やインターネットで見つけて、エッセンシャルオイルがかかつているフロスとかを買ったりします。

Q.3 歯科医院へは、定期的に通っていますか?

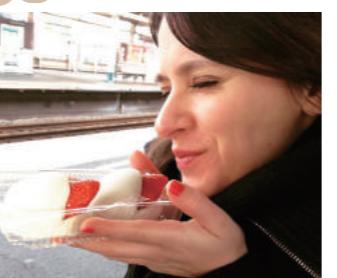
数ヶ月に1回、メインテンナンスは必ず行きますよ。私、口が小さいので自分ではキレイにできないところがけっこあるみたいで、むし歯ができるやすいので、イタリアでも半年に1回は通っていました。

日本に来てからは半年空けるとちょっとリスクがあるね」と言われたのでもうちょっと頻繁に。そういうのは自分だとわかりませんから、教えてもらえるのはあります。

Q.4 何のために「歯を守りたい」と思うのですか?

健康っていう言葉が、一番出てくるかもしません。「歯なんてなくてもいい」と言ふ人も多いけれど、一つなくなっただけで食べ方が変わるし、食べ方が変わるといろいろなところが痛くなる。本当に、チーンみたいに感じて体に問題が出てくるんです。

Q.5 日本人を見て、ビックリしたことを教えてください。



「甘いものが好きすぎて困るくらい!」というロッシさん。気軽に食べるためにも、お口のケアをちゃんとしたいのだといいます。

今日はさすがにお化粧してきたんですね。(笑)いつもはスッピンなんです、私は。ただ、歯だけはいつでもケアしていますね。逆に、日本の女性はお顔も服もピカピカなのに笑うと歯がなかつたりする。美的感覚がなんで歯までいかないのかなと思うことはあります。

歯は、みんなが感じているより大事なのです。始まりは小っちゃい1本でも、問題はどんどん大きくなりますからね。

展示&アプリコーナー



未来顔診断アプリを使い、80歳の自分の顔を見もらいます。みなさん、たるんだ未来の自分の顔にショックを隠せない様子。そこで「実は歯が抜ける原因って歯周病なんですよ」と教室の壁に貼られた約20枚の展示へ誘導すると、真剣に読み込んでいました。

※未来顔診断アプリの詳細は、同封のチラシに!!

白ばら祭当日

フロス実践コーナー



説明マニュアルをクラス全員で共有。「普段歯を磨くと血が出ますか?」という質問から始まり、出る人にはこう言う、出ない人には……と細かく設定されています。しかし、最初の数回マニュアル通りに行なうと自分の言葉でスラスラと説明できるように!

突然の質問にもグッペリメンバーに助けられながらしっかりと答えていました。



位相差顕微鏡体験コーナー

「この菌ってどこから来ると思う? 食べもの? 空気? 空? 実は、お父さんとお母さんなんだよ」。そう伝えると「ええ~!」とビックリ。また、お父さんの細菌を見て「うわあ」と声を上げる子や、自分の細菌を見て泣き出してしまう女の子もいました。



フロスの販売コーナー



白ばら祭オリジナルのフロアフロスを販売。1人ひとりのお客さまと話すようにしたことで、みなさんが危機感を持ち、フロアフロスの購入につながります。会計担当は「長期的にフロスを使ってくださいね」と声掛け。継続を促しました。



私たちで歯医者さんをつくったよ!

Whiteeeethが立ち上がるまで

2016年、春。文化祭でどんな企業を立ち上げるかについて各クラスで案出しが行なわれました。

高校1年生の4年B組が盛り上がったのは“歯”についての話題。衝撃のデータを知ったのです。

Step1 きっかけは「歯医者が苦手だったこと」!

“歯”を話題に持ち上げたのは仲さん。苦手な歯医者さんについて調べていたところ、「80歳になると日本人の歯は9本しか残らない」というデータを発見して「日本ヤバくない!?」と思ったそうです。

Step2 グッペリに連絡&フロスの販売を決意

最初の目的はオリジナル歯ブラシをつくること。知り合いをつたって株式会社オーラルケアに相談を持ちかけると、歯ブラシ以上にフロスが大切だと知り、取り扱いアイテムをフロスに切り替えたのです。

Step3 歯周病について学ぶ夏休み

夏休みはグッペリ事務局の歯科衛生士から講義を受けました。むし歯だけでなく歯周病も予防しなければ歯を守れないこと。歯周病は自覚しにくいうえ、歯を失うことにつながるのだと学びます。

Step4 「売る」だけじゃなく、「知ってほしい」

歯周病について学ぶうち、その恐ろしさをひしひしと感じたB組の生徒たち。文化祭の目的が「フロスを売ること」から「歯周病について知ってもらうこと」へ変わっていました。

Step5 何を聞かれても応えられるようしっかり練習

家族や友人相手にフロスの使い方を教え、伝える練習をしました。聞かれたことは何でも答えられるよう知識を入れ、気分は本物の歯科衛生士! 予防のプロとして本番に臨みます。



